

TOTO創立100周年を迎える記念事業として開設
「TOTOミュージアム」
8月28日(金)グランドオープン
～創業の地「小倉」から、TOTOブランドを世界に発信～

TOTO株式会社(本社:福岡県北九州市、社長:喜多村 円)は、本社・小倉第一工場(北九州市小倉北区)敷地内に新たな施設、「TOTOミュージアム」を8月28日(金)にオープンします。

2017年にTOTO創立100周年を迎える記念事業として開設した「TOTOミュージアム」では、TOTOが受け継いできた創業の精神やものづくりへの想いととも、新しい生活文化を創造してきたその歴史と進化を紹介します。

お越しいただくお客様、およびお取引業者様、地域の方々との接点の場として、また創業の地「小倉」から世界へTOTOブランドを発信するランドマークとして魅力ある施設を目指します。

TOTOミュージアム(旧歴史資料館)、北九州ショールーム、研修センター、ホールなど施設全体の年間利用者数は約8万5千人を見込んでおり、その内TOTOミュージアム(旧歴史資料館)の初年度の来館人数は約2万人を見込んでいます。



■開設の想い

1917年に創立したTOTOは、日本にまだ下水道が整備されていない時代に国民の健康で文化的な生活の実現を願い、水洗便器をはじめとする衛生陶器の製造に着手しました。その後の日本の近代化とともに、TOTOは常に最新の水まわり空間を提案し、水まわり文化の発展に貢献してきました。

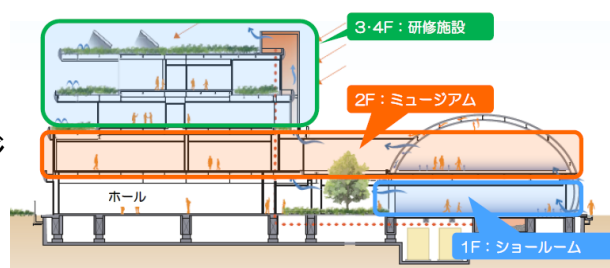
TOTOは、今後も変わらない創業の精神を受け継いでいくことを大切に考え、社会とともに発展していくという決意を広くお伝えし、お越しいただく皆様にご理解いただける施設を目指します。

■施設の特徴と展示概要

建物は「緑豊かな大地」と「水滴」をイメージしてデザインしました。この「大地」と「水」を象徴した建物デザインを通して「TOTOは人と地球のまいにちに潤いをもたらす環境づくりに貢献する」というメッセージを表現しています。

施設内にはTOTOミュージアム(旧歴史資料館)、北九州ショールーム、研修センター、ホールなどを集約しました。TOTOミュージアム(旧歴史資料館)は4つの展示室で構成され、旧歴史資料館の約4倍の広さに、ショールームの展示スペースは旧ショールームの約1.4倍となります。

また、TOTOミュージアムには今回初めてTOTOミュージアムオリジナルグッズや地元企業とのコラボ商品などのユニークなアイテムを揃えた「ミュージアムショップ」を開設しました。施設内には休憩ラウンジや図書コーナーも併設しています。



TOTOミュージアム(旧歴史資料館)入り口



北九州ショールーム入り口

■創業当時からのものづくりへの想いを伝える

TOTOミュージアムでは、TOTOが大切にしている歴代社長の志とその想いを受け継ぎ、水まわり文化の発展と社会の発展に寄与すべく創造し続けてきた数々の商品をご紹介します。

まず、お客様にTOTOの原点、TOTOのものづくりの姿勢をお伝えするという想いで、1914年に完成した初代の腰掛式水洗便器をシンボル展示として復元しました。

また、展示「TOTOのころざし」では森村グループ創始者・森村市左衛門、TOTO創業者・大倉和親、五代目社長・江副孫右衛門の功績など、TOTOに受け継がれるものづくりへの熱い想いをご紹介します。



初代腰掛式水洗便器(復元)



「TOTOのころざし」展示室の様子

■水まわりの進化を紹介

TOTOは、それぞれの時代において最新の水まわり空間を提案してきました。一般家庭のみならずパブリックの水まわりの進化にも貢献し、その時代を象徴する歴史的な建築物に採用されてきました。

TOTOミュージアムでは過去に納入した著名現場を再現して展示しています。展示「水まわり商品の進化」では、東京オリンピック(1964年)の際にホテルニューオータニへ納入した初代ユニットバスルームをはじめ、霞が関ビルディング(初代ユニットトイレ)、迎賓館赤坂離宮(大便器・ビデ・浴槽)を今回新たに展示しています。空間ごとに再現することで当時の様子をリアルに感じていただけます。



「水まわり商品の進化」展示室の様子



初代ユニットバスルームの展示

■これからのTOTOを伝える

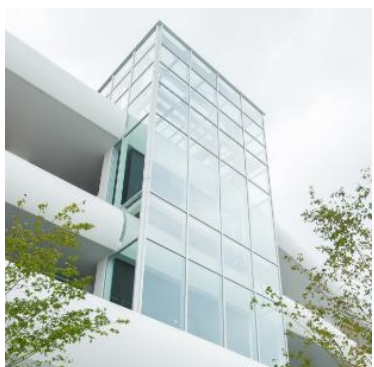
TOTOは、1917年の創立時から海外市場を視野に入れ、社名を「東洋陶器株式会社」としました。現在では活動の場を世界に広げ、それぞれの国や地域に根ざした企業として取り組んでいます。その取り組みの歴史や海外展開している商品については「グローバルギャラリー」でご紹介しています。日本の皆さまに、そして日本を訪れる外国の方にも、国内での活動とともに海外でのTOTOの取り組みの歴史と「これからのTOTO」をご覧ください。



「グローバルギャラリー」展示の様子

■環境配慮

建物は、これまでの環境貢献活動をさらにグローバルに進化させた「TOTOグローバル環境ビジョン」(※)を実践した環境配慮型施設です。水、熱、電力、素材、緑、長もち、空気の7つの視点から最新の技術と知恵を重ね、100個の環境への配慮を実践しています。TOTOの環境貢献技術を結集し、地球環境に優しい建物を実現しました。中でも、煙突効果を利用した換気・暖房システム「ソーラーチムニー」が特徴です。また、衛生陶器の製造時に発生する陶器の破片(約32.4t)を再利用して暖房用の蓄熱材として活用したり、衛生陶器の製造工程で使用した「アルミナ玉石」を玉砂利として再利用するなど随所に工夫を凝らしています。



ソーラーチムニー



陶器の破片を再利用した蓄熱材



アルミナ玉石

<TOTOミュージアム(旧歴史資料館)概要>

開館時間	10:00～17:00(入館は16:30まで)
休館日	毎週月曜日、夏期休暇、年末年始
利用案内	<p>入館料、駐車場:無料 ガイド案内希望のお客様は、見学希望日の1ヶ月前から予約受付開始。 (ガイドによる館内案内は約60分) 20名以上の団体のお客様については要予約。</p> <p><予約・お問い合わせ先> TOTOミュージアム TEL:093-951-2534</p>
WEBサイト	http://www.toto.co.jp/museum/index.htm

<北九州ショールーム概要>

営業時間	10:00～17:00
休館日	毎週水曜日、夏期休暇、年末年始(但し、祝日の水曜日は開館)

<施設概要>

名称	TOTOミュージアム
所在地	福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1 (TOTO本社・小倉第一工場敷地内)
施主	TOTO株式会社
設計監理	株式会社 梓設計
施工	鹿島建設 株式会社
内装設計・施工	株式会社 丹青社
建築工期	2013年10月～2015年7月
総工費	約60億円
建物用途	TOTOミュージアム(旧歴史資料館)、北九州ショールーム、研修センター、ホールなど
構造	鉄骨造
階数	地上4階
敷地面積	9,388㎡
延床面積	10,797㎡

【参考】過去のニュースリリース

2013年10月7日“本社・小倉第一工場の「新複合施設棟」着工” <http://www.toto.co.jp/company/press/2013/10/07.htm>

2015年3月30日“「TOTOミュージアム」8月28日(金)オープン” <http://www.toto.co.jp/company/press/2015/03/30.htm>



(※)TOTOグローバル環境ビジョン

これまでの環境活動をよりグローバルに進化させるために策定したグローバル共通のビジョン。各国各地域の環境問題や社会課題と向き合い、6つのテーマで環境へのとりくみを推進し、創立以来、長年にわたり培ってきた『水』に関するノウハウを生かして、さらなる環境貢献へと発展させていきます。

詳しくは下記URLをご覧ください

<http://www.toto.co.jp/company/environment/vision/index.htm>